

不正の予兆把握スキルを高める「考える監査」のポイント

～ 監査人の職業的懐疑心と監査推理力を通じて「隠れた真実」を見抜く～

日時 2024年(令和6年)1月24日(水) 10:00～17:00 (6H)

参加方法 オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村 智憲 氏
公認不正検査士 (CFE) ともら ともりの

対象 監査役、内部監査部門、リスク管理部門、総務部門、内部統制部門、
コンプライアンス・CSR部門、監査法人、監査系コンサルタント、ISO部門など

主催  一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

財務諸表から不正の「兆候」を発見する方法では、不正の後追い監査でしかありません。金融庁の不正リスク対応基準をはじめ、今、健全な経営や監査部門に求められているのは、不正の「兆候」を事後に把握することではなく、非財務情報から「予兆」をつかみ、そもそも、大きな問題が起こりにくくする監査対応です。

本セミナーでは、講義と事例検討、Q&Aを通じて、経営における「予兆」や現場での「声にならない生の声」から「隠れた真実」を早期に見抜き、対応するための視点と実践のポイントをお届けします。機械的・形式的対応から、付加価値の高い“考える監査”での監査の実効性向上を目指します。

また、質疑応答では当日のセミナーで予定の内容に限らず、監査部門が直面する課題についても幅広くお悩み相談、Q&A対応いたします。初級者からベテランの方まで、肩肘張らずに楽しく深く学べる、好評の戸村氏の監査シリーズよりお届けします。


■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇ 日本経営協会会員(1名)：33,000円(税込)
- ◇ 一般 (1名)：40,700円(税込)

■受講お申込み方法

下記「お申込みの流れ」を参照いただき、お申込みは開催日の5営業日前までをお願いいたします。

【WEBからのお申込み方法】

- 1 一般社団法人日本経営協会
ホームページ <https://www.noma.or.jp> から 
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
※テキスト・資料の送付先が、ご連絡先と異なる場合は「連絡事項」部分に送付先住所をご入力下さい。
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます

■参加料金お支払い方法

お申込み後、振込口座名を記載した請求書と参加券をご連絡担当者にお送りします。なお、開催3営業日前までに届かない場合は必ず電話にてご確認下さい。参加料のお振込みは原則として請求書に記載のお支払期限までお願いいたします。

振込み手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。

■オンライン参加について

【セミナーで使用するテキスト・資料とご視聴について】

セミナーで使用するテキスト・資料類は、知財保護すかし入りのPDFファイルを送付する予定です(ダウンロードURLをメールでご案内予定)。やむなき場合のみ紙媒体での資料お届けも可能です。

当日、視聴していただくためのURL及びID・パスワードは、別途、弊会担当者からメールにてご受講者様あてにご連絡いたします。

お申込み・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会
企画研修グループ・オンライン開発グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1891(直) FAX (03) 3403-1130
E-mail: tms@noma.or.jp URL <https://www.noma.or.jp>

【オンラインセミナー受講上の注意事項について】

Zoomに接続可能なパソコンまたはタブレット端末をご用意下さい。事前に各ストアから無料アプリをダウンロード(最新のバージョンに更新)して下さい。

Zoom公式ホームページ: <https://zoom.us/>

セミナー動画の録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また自ら、又は第三者を通じて、テキストデータおよびセミナー動画の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権・知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

セミナー参加に必要な通信環境、通信料等は、参加者のご負担となりますのであらかじめご了承下さい。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照下さい。

■キャンセルについて

お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。セミナーテキスト・資料の到着後のキャンセルについては、参加料の100%を申し受けます。(セミナー開催日の1週間前程度からお届け準備開始の予定です。)

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

不正の予兆把握スキルを高める「考える監査」のポイント

プログラム内容

1. “Thinking Audit”における監査人の主体的思考力の向上

- 「疑い方」にも流儀がある
- 監査人は何を「感じとる」べきか
- 「見えざる監査の先行指標 (AILI)」による予兆の把握と旧来のKPIに代わるもの
- なぜ「会計帳簿の不正を見抜く技術」は不正発生後の後追い監査でしかないのか？
- 監査クリエイティビティ：監査における創意工夫
- 「キュリアス・チャイルド・アプローチ (CCA)」による現場での対応
- “Don't Think, Feel!”：旧来型の監査思考の武装解除と現場そのものを見る姿勢
- 「演繹法型監査」から「帰納法型監査」への転換
- “Dive into Audit!”：監査人が人間として現場を肌身で「触れてみる」

2. 監査人の推理力・想像力・仮説設計力と検証から隠れた真実を見出すコツ

- 往査で見るべき5つのポイントとは？
- 「重箱の隅をほじくる監査」から「核心の脈を掘り当てる監査」へ
- 不正の予兆をつかむ：推理力・想像力・仮説検証
- 「ファクト・ファインディング」：物事の「行間」にある隠れた真実を見抜くには
- 「リスク管理型ビッグデータ」(©戸村)を通じた不正行動特性の分析事例
- “BaaT (ビッグデータ利用監査技法)” (©戸村)によるITを活用した不正調査

3. 監査で見抜くべき不正の予兆と「推理力」養成講座

実演① 公益通報による情報入手時

- 実演② 現場への往査時における職場模様
- 実演③ 取引先とのやりとりにおける予兆
- 実演④ 職場での気になる噂話や風土として現れる不正の芽
- 実演⑤ メンタルヘルス不調や各種の支障が示す健全な職場風土と不正の温床 など

- 「監査カンファレンス」による様々な角度から検証するチームプレー
- 現場をまっさらの心で見つめるには？経験や思いこみのワナの回避術

4. 監査人の「臨機応変力」養成講座

- 講師オリジナルの「ハプニング・カード・シャッフル式トレーニング」について
(臨機応変力向上のためのシナリオなき思考・推定演習) など

5. 質疑応答

- 当日のセミナー内容における質疑応答
- 監査・内部統制・リスク管理などセミナー当日の内容以外でも可能な限り対応させていただきます

※プログラムの順序や内容等は、最新動向、法令の改正等や事前のご質問などに応じて、適宜、改訂・変更の可能性がございます。

担当講師より

旧来からもてはやされてきた会計帳簿からの不正発見の対応だけでは、不適切会計や粉飾決算をはじめ、各種不正・不祥事が起こった後の問題しか見抜けません。また、不正が起こった後に、後追い型で不正を発見・対処するのが内部統制の本質ではありません。様々な不正・不祥事で会計帳簿や報告書類が細工される前の予兆を把握し、不正の芽の早期発見・早期是正と、監査人が果たすべきそもそも不正が起こりにくく健全に儲け続けるための工夫・対策についてお届けします。

講師プロフィール

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公認不正検査士 (CFE)

とむら ともりの
戸村 智憲氏

早稲田大学卒。米国MBA修了(全米トップ0.5%のみ授与される優秀大学院生受賞)。米国博士後期課程(Ph.D)中退。国連勤務にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダーなど人権啓発・ESG関連を担当。民間企業役員レベルで監査統括・人事総務統括など、上場IT企業JFEシステムズ(株)アドバイザー、経営行動科学学会理事、JA長野中央会顧問、岡山大学大学院非常勤講師などを歴任。監査法人の代表社員をはじめ、公認会計士や弁護士、大手コンサルタントなどの専門家を指導する講師としても登壇。NHK「クローズアップ現代」TV出演・番組監修、テレビ朝日「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」番組監修などをはじめ、日テレ日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」での航空監修や主演の安藤サクラさんのセサナ教官役でのドラマ共演など、TV・ラジオ・新聞・雑誌などでの出演・寄稿・連載多数。

経営指導・講演・書籍執筆の3つの柱で活動し、全国各地にて年間120講演程度。指導先は上場最大手企業から中堅中小企業、金融機関、商社、医療福祉機関、農協、自治体、学校法人など経営陣から各階層まで幅広く担当。

コーポレート・ガバナンス・アワード大賞選考委員長、日本取締役協会会員、ICGN(International Corporate Governance Network)正会員など産学ともに活動中。現在の著書33冊。代表作に『クリエイティブ監査への道：“経営に資する監査”の再考と再興』(税務経理協会)、『企業統治の退廃と甦生』(中央経済社)など。日本の人気講師ランキング3位(日経産業新聞しらべ)。

